

高等学校 令和6年度（1・2年家庭科

科目 家庭基礎

教科：0

科目：家庭基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～9組

教科担当者：1と2組酒井 3と4組酒井 （5と6組組：；（7と8組：酒井（9組：酒井（組：）

使用教科書：（気づく力築く未来家庭基礎 実教出版）

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】基礎・基本的な知識と技能の習得

【思考力、判断力、表現力等】自分の日常生活に家庭科で学習したことを身につけていく

【学びに向かう力、人間性等】自己の進路に学んだことを小論文や面接で書いたりいえる力を身につけていく

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
絵本製作や読み聞かせが発表できるか 調理実習を安全に衛生的に行えるかをみていく	ホームプロジェクトを課し夏休み中にあるいは冬	自己の生活力の表現力をみていく

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	自分の未来予想図を描く 家族に関する法律	自分よ生活デザインを考えさせる 民法について知る。 家族と法律と自分	課題プリントの提出と授業態度と自分の生活 に関する興味と関心をみる	○	○	○	6
	こどもとは 子どもの発達	妊娠中の注意を知る。 新生児の扱いと特徴	ゴールデンウィークの課題をみる。 授業中のプリント取り組みをみる。	○	○	○	6
	こども生活 子どもの社会福祉	子どもを取り巻く環境と発達課題 絵本製作	絵本製作の取り組み方と興味関心をみ る。 プリントの取り組みと授業に関する態度	○	○	○	8
	高齢社会を支える仕組み	将来の親の介護について考える 高齢化社会の行方について考える	劇を行い年を取るということはどういうこと か疑似体験をおこなうその時の取り組み方を みる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	子どもと食事と安全な生活	食の歴史と食の安全について学ぶ 幼児のの食事献立と実習	実習態度と中間テストで判断する。	○	○	○	4
	2学期公判で前半後半チェンジする ため、後半も同じ	上に同じ	上に同じ	○	○	○	18
3 学 期	上に同じ	上に同じ	上に同じ	○	○	○	8
	上に同じ	上に同じ	上に同じ	○	○	○	9
							合計 64